

MIE UNIVERSITY X

三重大学広報誌

# 三重大 X

[えっくす]

CONTENTS

ホットNews

## COP10 生物多様性

～山から海へ～

特集

おもしろ研究・先生Ⅶ

07

特集

学ぶ・育む プログラム「X」

15

気になるNews

17

スポット／クラブ・サークル

19

本の紹介／表彰

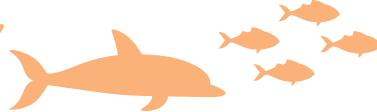
21

お知らせ

23

歴史街道シリーズ

30



vol. **23** 2010  
AUTUMN



# Hot News 生物多様性

## 速報



# COP10 AICHI-NAGOYA

# 国連生物多様性条約第10回締約国会議

2010年10月11日(月) - 29日(金)

「COP (Conference of the Parties)」とは、国際条約を結んだ国が集まる会議(締約国会議)のことです。多様な生き物や生息環境を守り、その恵みを将来にわたって利用するために結ばれた生物多様性条約において、10回目の締約国会議「COP10」が2010年10月、愛知・名古屋で開催。

## 「COP10 in 三重」

～アジア・太平洋子ども&ユース生物多様性伊勢湾環境会議～

日程：2010年10月14日(木) - 17日(日)  
会場：勢水丸・亀山里山公園・三重大学講堂

伊勢湾を中心に陸と海洋の環境を通じて豊富な生物多様性を考えられる利点を活かして、生物多様性や国際環境協力の大切さを体験。

- 三重大学附属練習船「勢水丸」から学ぶ伊勢湾海洋上環境学習
- 亀山の里山公園での自然と触れ合う里山学習
- 関宿での環境文化体験
- シャープ株式会社見学
- 鳥羽水族館、御木本真珠島、海の博物館見学
- COP10会場見学

アジア・太平洋大学  
環境コンソーシアム  
1周年記念  
国際環境教育シンポジウム

文部科学省補助金事業(教育GP)  
「三重大ブランドの環境人材養成プログラム」

2010年10月16日(土)  
三重大学講堂



附属練習船「勢水丸」



亀山里山公園



三重大学講堂(三翠ホール)

三重大学は「世界一の環境先進大学」を目指し、三重に根ざし、世界に通用する環境人材の育成に力点をしています。

## 「三重大学ブース設置」

日程：2010年10月11日(月) - 29日(金)  
会場：白鳥公園



## 「アジア・太平洋大学環境コンソーシアム」 ～国際環境教育フォーラム～

日程：2010年10月18日(月) 会場：名古屋学院大学体育館



生物多様性国際ユース会議in愛知2010(2010.8.27)



アハメッド・ジョグラフィス 生物多様性条約事務局局長



三重大学長  
内田 淳正  
Uchida, Atsumasa

三重大学理事・副学長  
(企画・環境担当)  
後藤 正和  
Goto, Masakazu

三重大学  
人文学部文化学科・教授  
三重大学学長補佐  
(環境ISO担当)  
朴 恵淑  
Park, Hye-Sook



生物多様性条約は、1992年のリオの地球サミットで採択された地球環境を守るための条約の一つです。2010年は国際生物多様性年であり、愛知・名古屋において開催されるCOP10では、生物多様性の損失速度を顕著に減少させる2010年目標を検証し、2011年以降の行動計画(名古屋目標)を採択する、また、遺伝資源の利用から生ずる利益を公正かつ衡平に配分する約束(名古屋議定書)を決めることが期待される、大変重要な国際環境会議となります。



# 生物多様性

地球上にある、森、里、川、海などの様々な生態系には、  
3,000万種を超すとも言われている多様な生き物が存在しています。  
また、私たち人間を含め生き物は同じ種であっても多様な個性を持ち、  
お互いにつながりあって生きています。

人間のみならず、様々な生き物は、  
自然の恵み(生態系サービス)に支えられ生きています。

## 生態系の多様性



干潟、サンゴ礁、森林など、様々なタイプの自然があり、様々な生態系があること。

## 遺伝子の多様性



同じ種の中でも、遺伝子の違いによって、  
姿形や行動などの特徴が異なること。

## 種の多様性



気候、標高、土壌などの様々な環境に  
適応して、様々な生物種が生息していること。

## 供給サービス

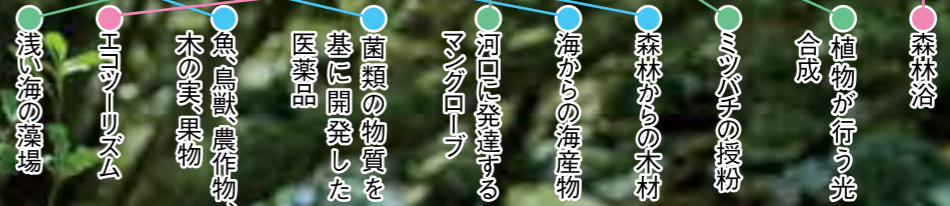
- 食料
- 木材・繊維
- 淡水
- 燃料 他

## 調整サービス

- 機構調整
- 疾病制御
- 洪水制御
- 水の浄化 他

## 文化的サービス

- 審美的
- 教育的
- 精神的
- レクリエーション 他








# 山から海へ



身近な環境での生物多様性について  
生物資源学研究科の研究や取り組みの  
一部を少し紹介しま〜す。

  
 附属紀伊・黒潮生命地域  
 フィールドサイエンスセンター  
 附帯施設演習林  
**松村 直人** 演習林長(兼)・教授  
 Matsumura, Naoto  
 【URL】  
<http://hirakura.bio.mie-u.ac.jp/>

  
 資源循環学専攻  
 循環社会システム学講座  
 循環経営社会学  
**波野野 豪** 教授  
 Hatano, Takeshi  
 【URL】  
<http://www.bio.mie-u.ac.jp/junkan/shakai/>

  
 資源循環学専攻  
 循環社会システム学講座  
 地域環境管理学  
**高山 進** 教授  
 Takayama, Susumu  
 【URL】  
<http://mie.isewan.nikita.jp/?cid=44938>

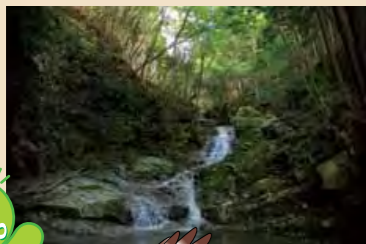
  
 生物圏生命科学専攻  
 水圏生物生産学講座  
 魚類増殖学  
**淀 太我** 准教授  
 Yodo, Taiga  
 【URL】  
<http://www.bio.mie-u.ac.jp/seimei/suiken/gyozo/index.html>

  
 生物圏生命科学専攻  
 海洋生物学講座  
 海洋生態学  
**木村 妙子** 准教授  
 Kimura, Taeko  
 【URL】  
<http://www.bio.mie-u.ac.jp/seimei/kaiyo/seitai/saito/Welcome.html>

  
 生物圏生命科学専攻  
 海洋生物学講座  
 藻類学  
**前川 行幸** 教授  
 Maegawa, Miyuki  
 【URL】  
<http://soruipc2.bio.mie-u.ac.jp/index.html>

## 森林資源保全の調査・実習

演習林(面積約460ha)の約60%は、天然生林で、常緑広葉樹(ヤブツバキ・ウラジロガシなど)や針葉樹(モミ・ツガなど)と落葉広葉樹(ケヤキ・トチノキ・ミズナラ・ヒメシャラ・ミズメ・ブナ・カエデ類など)が混交する紀伊半島北部の代表的な森林植生です。水源涵養、景観維持、植物遺伝子資源の保存、野生動物の保護などのためにも重要な森林生態系で、原則として伐採が禁じられています。



クマタカ、コノハズク、オオダイイハラサンシヨウウオ、ヤマネ、ニホンカモシカなど天然記念物を含む分布の上から重要な動物が確認されています。

## 生き物を守る農業を支える

農家は、作物を病虫害や雑草から守り、かつ、コストを下げた食料を供給するために農業や化学肥料を使ってきました。しかし、その結果、田んぼや畑の回りからはトキやコウノトリだけでなく、赤とんぼ、イナゴ、カエル、タニシ、タガメ、ドジョウなどが姿を消しつつあります。こうした生き物を守るには、消費者が環境にやさしい農産物を買って、地域の農業を支えることが必要です。



農作物は考えて選ぶ!!

- 旬のもの
- 地のもの



## 生き物と共存できるしくみ

私たちの社会は過去200年ほど生き物に配慮のない経済を営み、同時に生き物と折り合って暮らしてきた地域の文化もこわされてきました。しかし私たち人間は「生き物たちの恵みに支えられて生きている」という事実気づけば、「奪い合う」から「分かち合う」しくみを作れるはず。日本発のしくみであるtable for twoは、昼食を選んで食べることで1食につき20円分の「分かち合い」ができるプログラムです。



## 考えてみよう放流

多くの淡水魚が乱獲や自然破壊、外来生物の影響で危機に瀕しています。また、川や湖の魚は自由に他の水域と交流できないので、同じ種でも水域ごとに少しずつ違う遺伝的性質を持っています。川や湖で、漁業法で「捕ったら増やす」義務が漁業者に課せられており、これまではよそから持ってきた魚や人工的に増やした魚を放流することで増やしてきました。その結果、よかれと思って行った放流のせいで、本来生息するはずのない種類の魚が増えたり、同種でも遺伝的に異なる魚が侵入し、生物多様性の損失に輪をかけてしまっています。外来魚の管理手法や放流によらない増殖方法を開発し、淡水域の生物多様性を回復・維持しながら利用する方法を考えています。



## 干潟の多様な生き物を調べる

潮の満ち引きによって現れる砂や泥の地面(干潟)には、海や川から運ばれてきた有機物などがたまりやすく、それを餌にカニや貝やゴカイなどのベントス(底生生物)が住んでいます。また、干潟の周辺(ヨシ原や護岸壁)にも生物が数多く生息しています。これらの生態を明らかにし、保全するために、何をするかを考えています。



## 伊勢湾の危機をアマモが再生



大型海藻が群落を形成している「藻場」は、多くの機能を持ち海洋生態系の一部(食動物の餌場、葉上動物の生活の場、魚類の産卵場・稚仔魚期の生育の場)として重要な働きをしています。しかし、伊勢湾のアマモ場は、1960-1970年の調査で1万haあったものが、2000-2010年では、99%が破壊され100haとなっていました。今、三重県と連携しアマモ場再生の事業を行っています。





特集 おもしろ研究・先生 VII

数学の歴史 精神の浄化から知性の完成への歩み



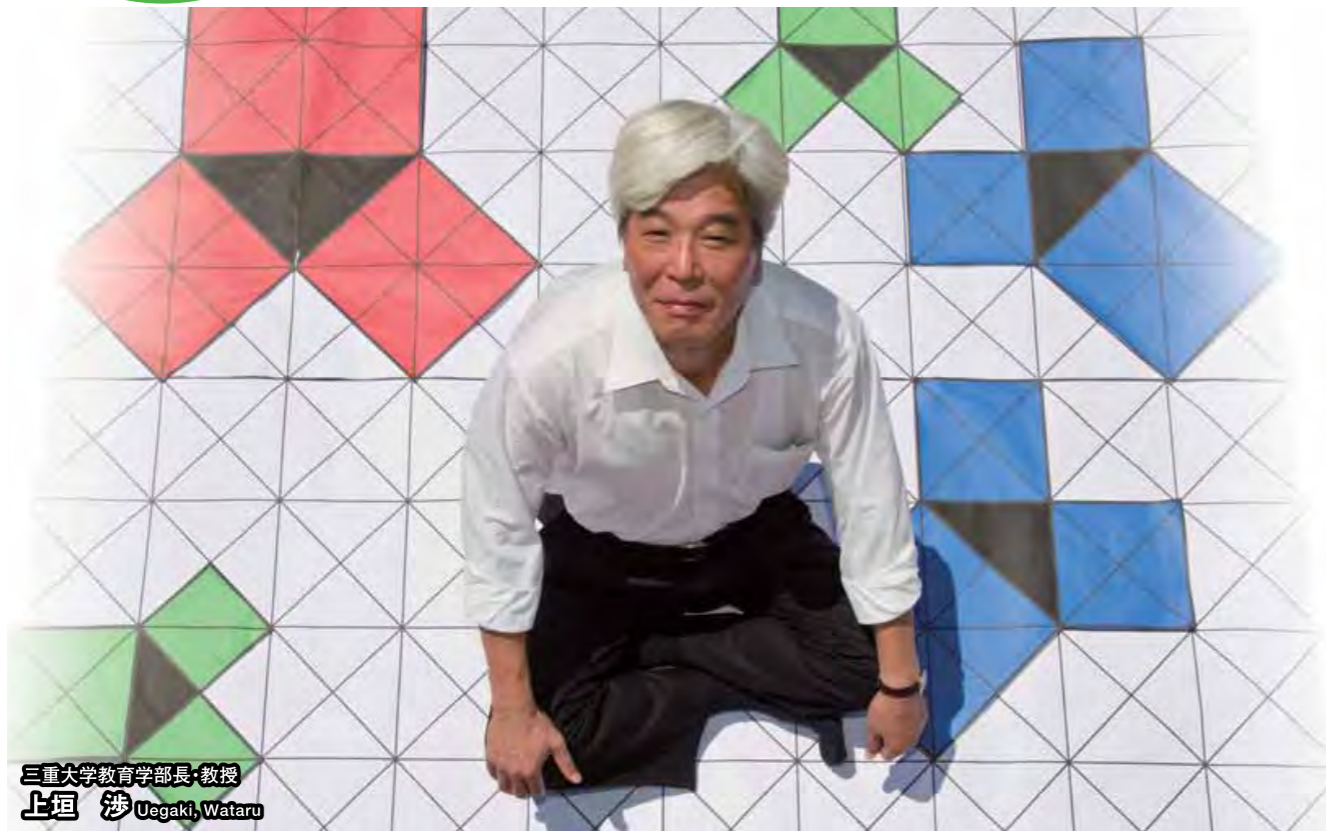
数学は古代ギリシャで誕生しました

**「数学」の語源はギリシア語の「マテーマタ」**

その最大の特徴は、いくつかの原理的な事柄にもとづいて“証明する”という知的態度をとったことであり、この特徴は他の文明圏には見られないことです。

英語では「マセマティクス」

「数論」「音階論」「幾何学」「天文学」の4つは「ピタゴラス学派の4科」と呼ばれる



三重大学教育学部長・教授 上垣 渉 Uegaki, Wataru

教育学部1号館中庭にて

ピタゴラスの定理の発見

古代ギリシアの有名な数学者の1人にピタゴラスがいます。直角三角形の斜辺の長さの2乗は他の2辺の長さのそれぞれの2乗の和に等しいという内容は「ピタゴラスの定理」（日本では「三平方の定理」）と呼ばれています。ピタゴラス以前にも、特殊な直角三角形について上記の

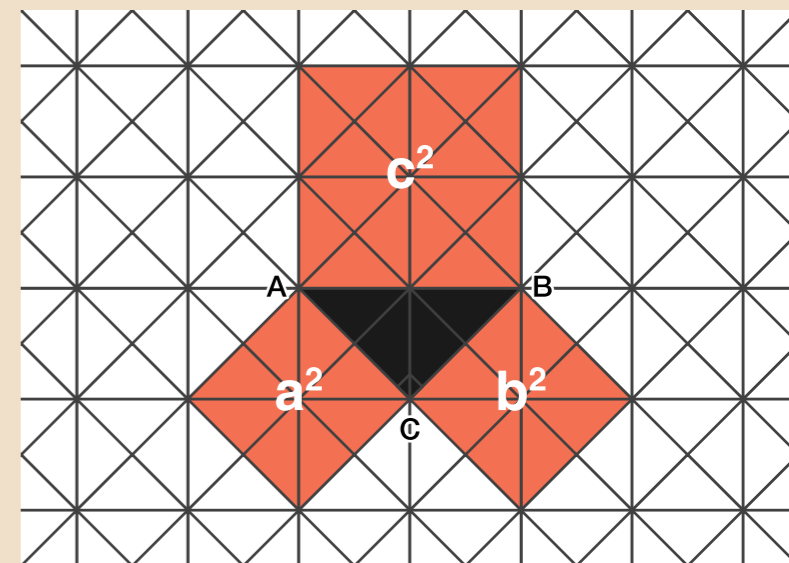
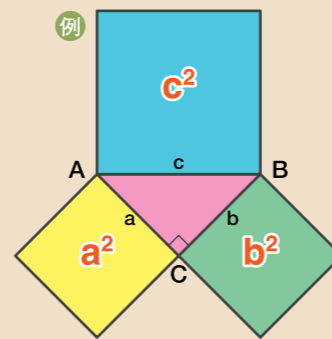
ことは知られていましたが、すべての直角三角形についての一般的な証明を初めて行なったのがピタゴラスだと言われ、ピタゴラスの名前が付けられたのです。

一説によれば、ピタゴラスはエジプトに留学した折、神殿の壁面や床などに敷き詰められたモザイク模様を見て、定理を発見したと言われています。

ピタゴラスの定理（三平方の定理）



直角三角形の直角をはさむ2辺の2乗の和は、斜辺の2乗に等しい。  
 $a^2 + b^2 = c^2$



円周率を計算したアルキメデス

今日においても、世界3大数学者の1人とされているアルキメデスは、円の面積公式や球の体積、表面積などを求める方法を発見しました。円の面積を求めるには円周率が必要となりますが、アルキメデスは円に内接・外接する正96角形の周囲の長さを計算することによって、初めて小数点以下2桁まで(3.14) 求めたのです。

初期ギリシア数学を集大成した『原論』

およそ紀元前600年頃から300年頃までの期間、ギリシア数学は大いに発展し、今日では「第一次科学革命」と呼ばれています。この約300年間に蓄積された数学を集大成したのが、全13巻から成るユークリッドの『原論』です。その内容は幾何学、数論、比例論、無理量論、求積論、多面体論など多岐にわたっています。この書は、公理的・演繹的数学の原型とも言え、その後の諸科学の見本とされるとともに、聖書に次いで各国語に翻訳されました。

その後も、多数の数学者が次々と現れ、数学的な「知の伝統」が形成されていったことは、今日の眼から見ても驚嘆に値することだと思います。

古代エジプトの数字

1 =   棒さし	1000 =  はすの花
10 =  家畜の足かせ	10000 =  指
100 =  縄(ロープ)	100000 =  オタマジャクシ
例えば 5だと	23だと

円周率 (π) (π) はギリシア語の「ペリフェレイア」の頭文字であり「周囲」を意味する

円周率 (π)  
3.141592653589793238462643383279  
50288419716939937510 (51桁) の覚え方

「産医師異国に向こう産後厄なく産婦みやしろに虫さんざん間に鳴く。ご礼には早よくな、ひとむく、さんくく、皆ご入れ」  
って覚えたよね





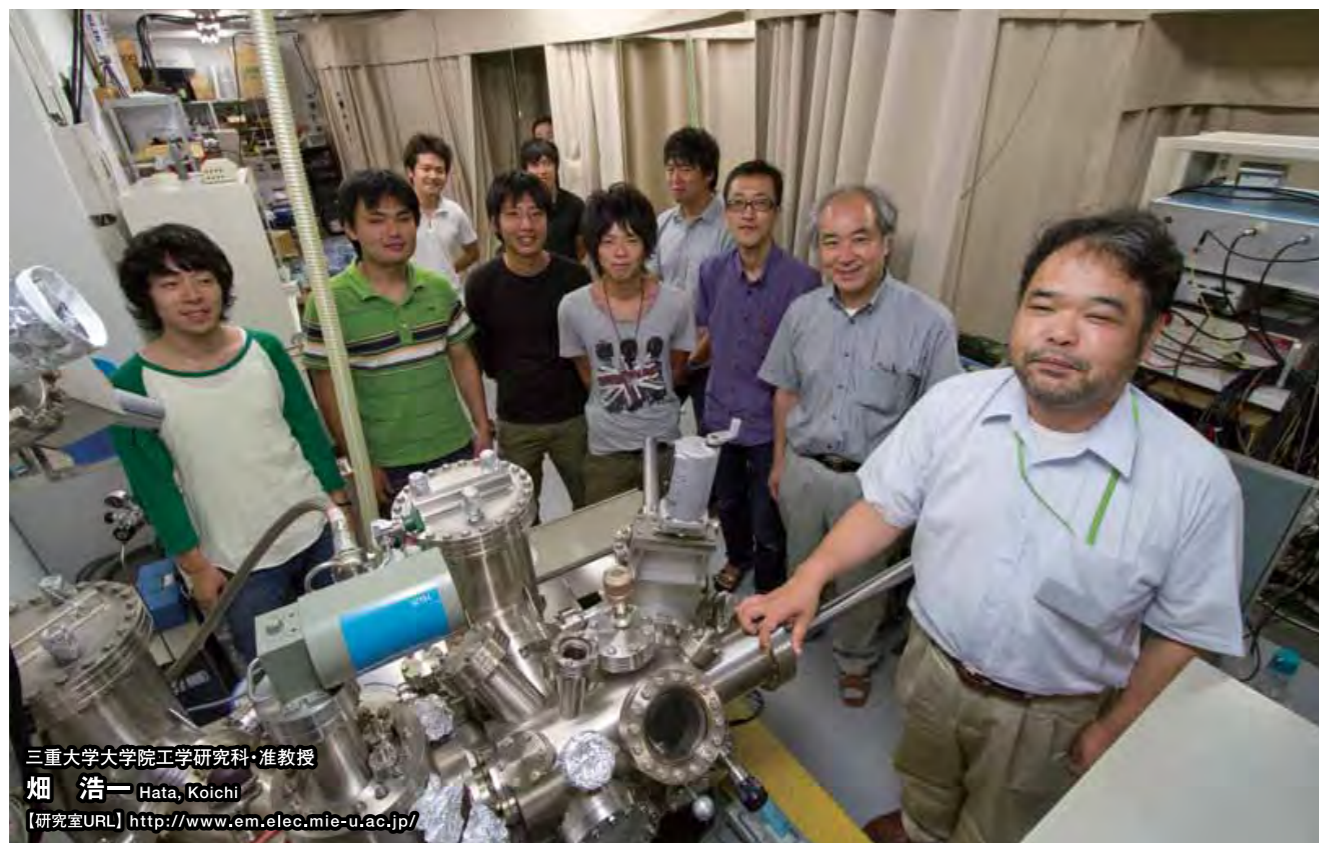
特集 おもしろ研究・先生

Ⅶ ナノの世界を観る”眼”と、造る”指”

電子ビームとイオンビーム

100万分の1ミリメートル(ナノメートル)の世界は、人間の眼では見えません。でも確かに存在していて、現在数10ナノメートルサイズの産業製品が皆さんの生活に役立っています。ではどうやって、こんな小さな物が造れるの

でしょう。造るためには、まず観ることが必要です。実は、観る”眼”の1つが電子ビーム、造る”指”の1つがイオンビームです。ビームとは、方向と速さが揃った粒子の流れのことで、直径数ナノメートルのビームを形成し、観察・計測・加工に応用する技術がナノビームテクノロジーです。



三重大学大学院工学研究科・准教授 畑 浩一 Hata, Koichi [研究室URL] <http://www.em.elec.mie-u.ac.jp/>

ビームを取り出す

原子数個で尖った金属の針(エミッター)に数1000Vの電圧を加えると、エミッター先端には $10^9$  V/m以上の強い電界が発生します。マイナス電圧を加えるとエミッター中の電子が、プラス電圧を加えるとエミッターを取り巻く気体分子がイオンとなり、ビームとしてエミッター先端の原子数個の領域から取り出されます。

ビームを絞る

電子やイオンは電荷を持っているため、電界や磁界中ではローレンツ力\*を受けてビームの軌道が曲がります。これを利用して、電子やイオンビームを細く絞る凸レンズをつくることができます。最近はこのレンズの性能が向上し、直径数ナノメートルのビームを容易に形成できるようになりました。

\*電磁場中で運動する荷電粒子が受ける力

知ってますか?

原子と分子についてのまめ知識



- 1問目: 物質を構成している最小の粒は? A. 原子
- 2問目: 元素の中で一番小さい原子は? A. 水素原子
- 3問目: 水の分子はどんな原子が何個結びついて出来たものか? A. 水素原子が2個、酸素原子が1個

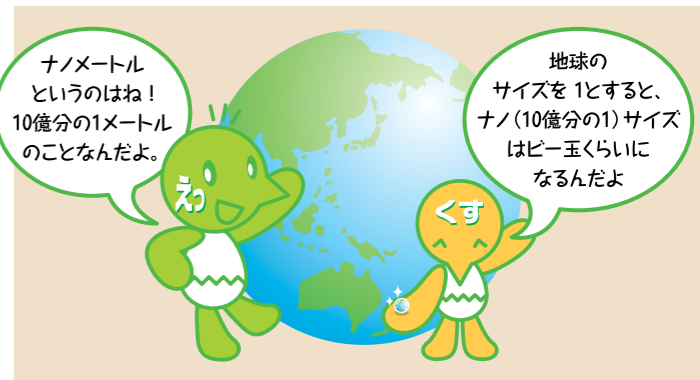
金属は電流をよく流す性質を持っていますが、電流の正体は電子です。一般に金属中の電子は、外部から熱や光のエネルギーを与えると、金属外へ飛び出てきます。また、エネルギーを与えなくても、強い電界を加えることで電子を取り出すことができます。私たちの研究室では、この時に必要となる強い電界(約 $10^9$  V/m)を発生するために、金属電極を原子数個で尖った針に加工しています。電子ビームは、この針先端の原子数個の領域から取り出されています。



電子顕微鏡によるタングステン針の拡大図 右の図の緑の輝点は、針先端の3個のタングステン原子

ビームで観る、測る、加工する

電子ビームを試料に照射すると、試料表面からは電子やX線(光)が出てきます。これらを信号として試料の観察や分析を行う装置が電子顕微鏡です。電子顕微鏡の分解能を決める要因の1つは、照射する電子ビームの直径です。どれだけ細いビームを形成するかが鍵となります。また、イオンは電子に比べて重いので、イオンビームを照射するとその場所が削られます。これを利用して、ナノメートル精度の超微細加工が行えます。



ナノメートルというのはね! 10億分の1メートルのことなんだよ。

地球のサイズを1とすると、ナノ(10億分の1)サイズはビー玉くらいになるんだよ



電子は電気回路の中を流れたり、原子核の周りを回って原子を構成している粒子なんだよ。目に見えないくらい小さくてとても軽いんだよ。

真っ暗な夜空に光ビームを観ることがあるよね

ビームの究極技術を追求する

私達の研究室では、どれだけ小さな物を“はっきり観るか”、“精度よく測るか”そして“精密に造るか”を目的に、ナノビームテクノロジーを追求しています。その究極の対象は、1個の原子や分子です。“芸術にまで高められた技術”という意味の“State of the Art”を目指して、日夜研究を推進しています。



特集 おもしろ研究・先生

Ⅶ

今年のおもしろ研究・先生Ⅶ 気象学の最先端 今年の猛暑は予知できたか？



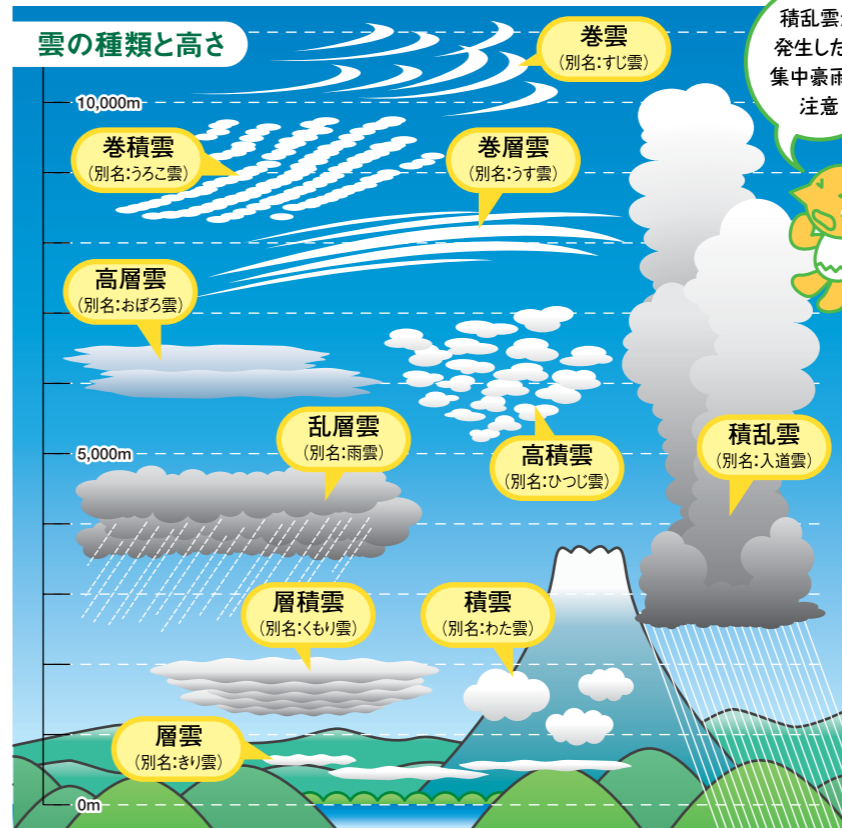
三重大学大学院生物資源学研究所・教授  
立花 義裕 Tachibana, Yoshihiro  
[URL] <http://www.bio.mie-u.ac.jp/kankyo/shizen/lab1/>

生物資源学学部校舎付近で気象観測気球の放球の瞬間



異常気象の原因

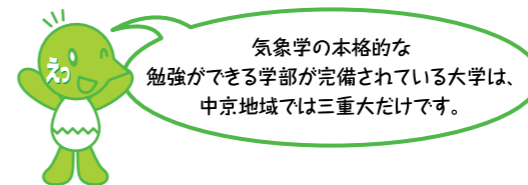
今年は世界各地で前例がないほどの異常な猛暑でした。どうしてこれほどの猛暑になったのでしょうか。「地球温暖化が原因?」いえいえ、二酸化炭素増加による温室効果とは直接は関係ありません。なんでもかんでも温暖化と短絡的に結びつけるようなエセ科学にはだまされなくてください。研究室では今年の猛暑の原因解明



気候変動メカニズム解明への挑戦

の研究に着手したところ、今年の夏は、地球規模の大気の流れが異常だったから猛暑だったのです。ではどうして異常な流れになったのでしょうか。私たちの仮説が正しいければ、この猛暑は半年前の冬に既にその予兆があったのです。前冬の異常気象が夏の異常気象に関係していたということです。

地球規模の異常気象は、大気が原因で起こることもありますが、大気に加え、海洋・雪氷・植生などが複雑に影響を及ぼしあって起こることがしばしばです。今年の夏の猛暑は数千キロメートルも遠く離れた亜熱帯の海洋が影響していると私たちはみえています。



気象に似た単語に気候があります。気候とは、大気に加え、海洋・陸水・植生・雪氷などが複雑に絡み合った地球の状態を指します。そして気候変動とは、その複雑に絡み合った状態の変動のことです。つまり気候変動の原因解明には、地球規模の異常気象のメカニズムを理解することが鍵となるのです。

今年の夏のような猛暑、あるいは冷夏、豪雪や暖冬、異常多雨や干ばつ、北極の海水の減少、地球温暖化。これらの地球規模での異常な「気候」がなぜ起こるのでしょうか?残念ながら、現在の最先端科学でも、これらの「なぜ?」に対する完全な答えをまだ得ておりません。これらの「なぜ?」を、解き明かすこと。それに挑んでいるのが、我が研究室です。



特集 おもしろ研究・先生 VII

2010 FIFA ワールドカップで日本代表チームの高地トレーニングをサポート

事前キャンプから本大会終了時までの約40日間に渡り日本代表チームに帯同。低酸素を用いたトレーニングを行ったり、選手個々の体調変化を把握し、トレーナー、ドクター、さらには岡田監督やコーチと情報を共有することで選手のコンディションを万全なものにし、結果として高地対策としての成果を収めることができました。



南アフリカ ジョージにて6名のメディカルスタッフ(トレーナー&ドクター)

3月～ 高度 0m 事前準備

5/21 国内合宿

5/26 高度 1,800m ザースフェー スイス合宿

6/6 高度 190m 南アフリカ ジョージ

6/14 高度 1,400m 日本 1-0 カメルーン ブルームフォンテン

6/19 高度 0m オランダ 1-0 日本 ダーバン

6/24 高度 1,500m デンマーク 1-3 日本 ルステンブルク

6/29 高度 1,300m パラグアイ 0-0 日本 (PK5-3) プレトリア

サプリメント配布 ●低酸素環境下でのチェック ●低酸素マスク

低酸素マスク 尿検査

毎日、10項目が分かる試験紙で尿検査

体温 起床時に、動脈血の酸素飽和度、脈拍数や体温、さらにコンディションに関するアンケート



岡田武史監督とプレトリア宿舎にて



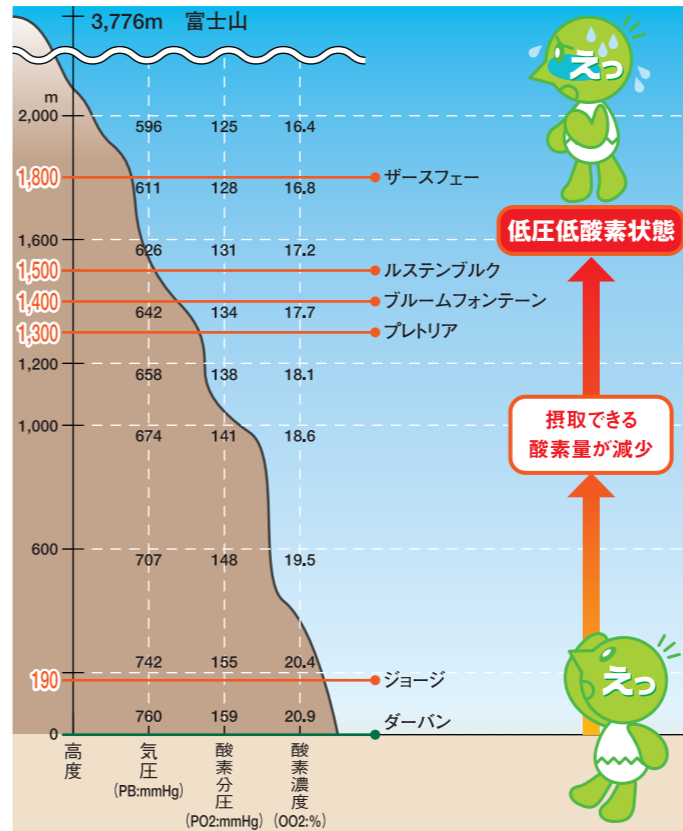
三重大学教育学部・准教授 杉田 正明 Sugita, Masaaki [URL] http://edusugita.gooside.com/

三重大学教育学部校舎前

高地トレーニング研究開始

1990年代、東京大学教養学部(身体運動科学)の助手時代に日本陸上競技連盟科学委員長であり、高地トレーニングの先駆者、小林寛道(かろ)東京大学名誉教授のもと、陸上選手の競技力向上へ向けた医科学サポートや高地トレーニング

の研究に携わることになりました。当時は陸上競技・長距離、マラソンおよび競歩のトップ選手を対象とした高地トレーニングにおけるサポートのため、アメリカ・コロラド州のポウルダーやメキシコなど国内外で精力的な活動を展開しました。



Spo2計(動脈血の酸素飽和度)

低酸素室(標高4,000m相当まで調節可能)

自転車エルゴメーターによる測定

無酸素パワーの測定

自転車エルゴメーターの回転数

高地トレーニングの重要性

これまでの陸上競技における高地トレーニングの医科学サポートや三重大学での研究が基盤となって、今回の成果に結び付いたことができます。今回のW杯を通して、競技現場でのスポーツ科学の重要性と高地トレーニングの有用性が改めて再認識されたと思います。この貴重な経験を活かして、今後も高地(低酸素)トレーニングがあらゆるスポーツに応用できるよう取り組んでいくこと、更なる研究を進めていきたいと考えています。

三重大学に低酸素テント設置

1999年に三重大学に赴任後、実験室に低酸素テントを設置し、三重にいても実施可能な実験を進めることができました。例えば、わずか7回だけの低酸素(高地)トレーニングの効果、低酸素テント内での筋力トレーニングや成長ホルモンの分泌に関する研究などを行ってきています。



選手から贈られた選手全員のサイン入りユニホーム



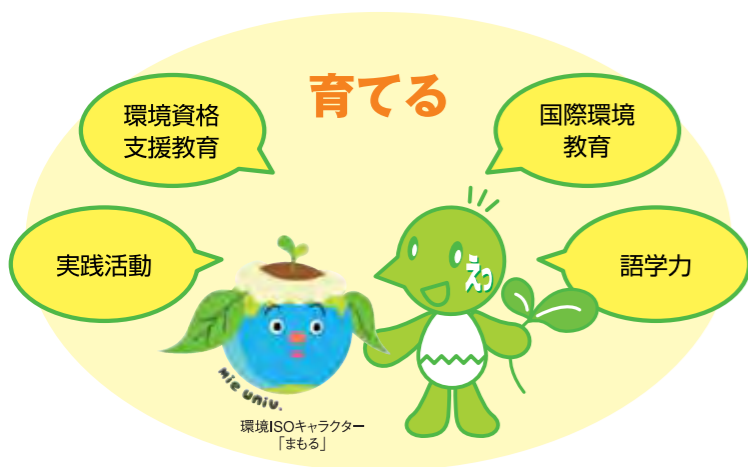
特集 学ぶ・育む「X」プログラム

三重大ブランドの環境人財養成プログラム

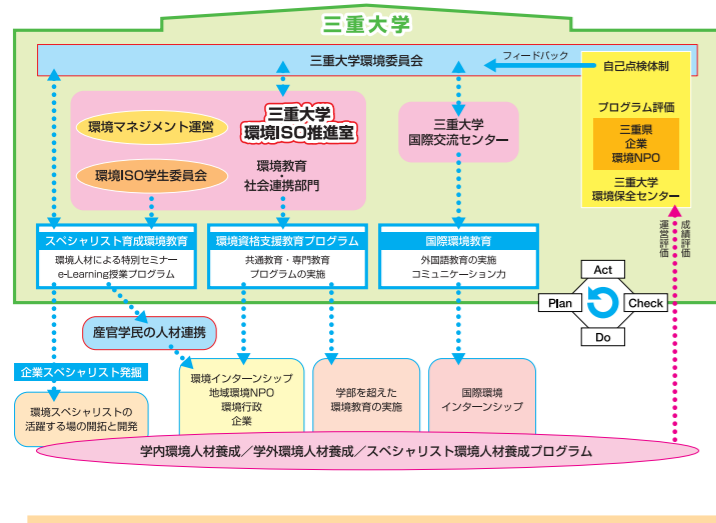
「文部科学省 平成20年度 質の高い大学教育推進プログラム」

環境教育を通して「生きる力」を身につける

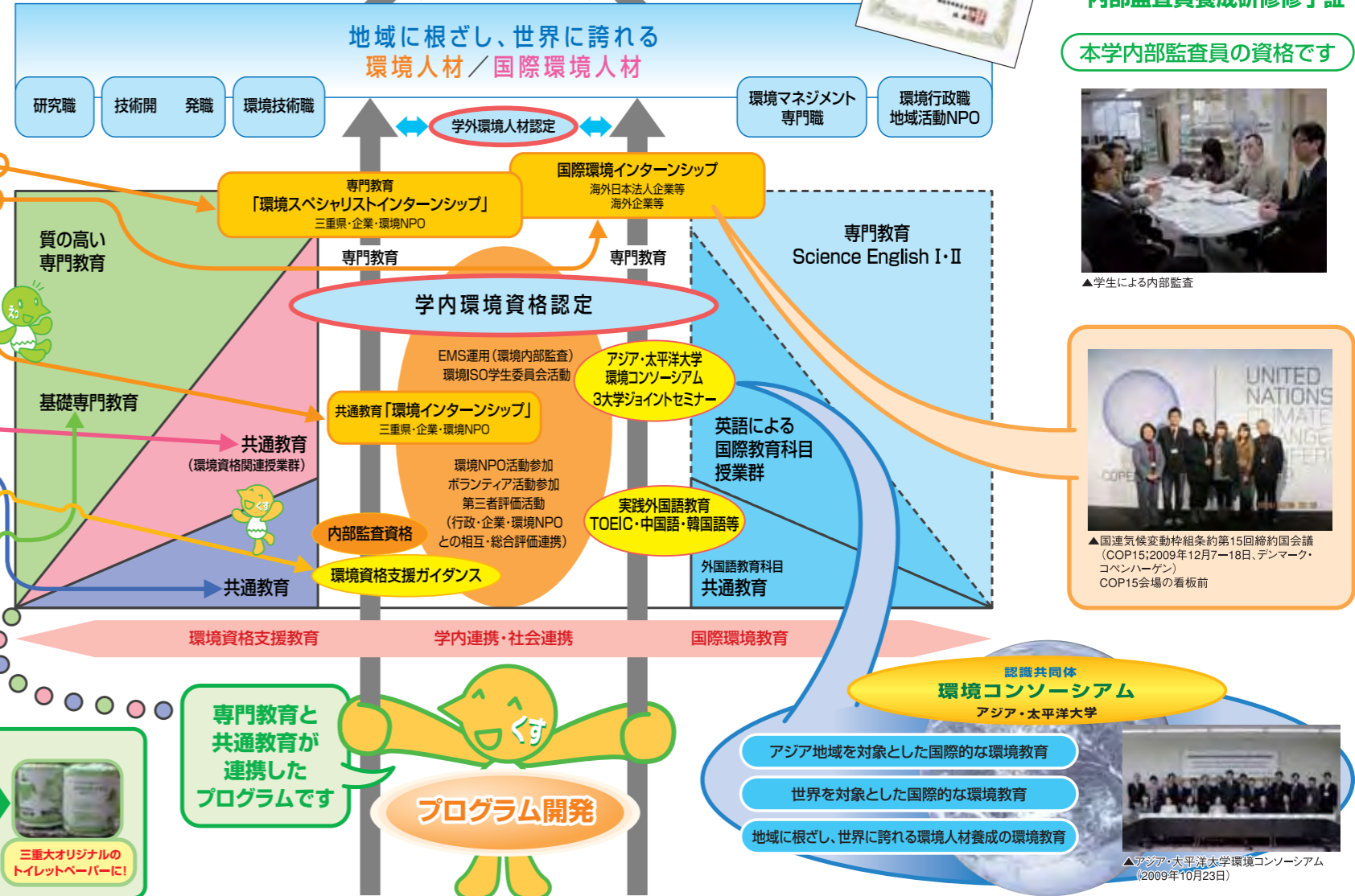
「環境資格支援教育プログラム」と「国際環境教育プログラム」により、地域に根ざし世界に通用する優れた環境人財を育成します。共通教育と専門教育を連携させ、学部を超えて環境教育を実施し、国内外での環境インターンシップなども行います。プログラム終了時には、学内環境資格を取得し、三重大の環境スペシャリストとなります。



環境資格支援教育／国際環境教育プログラムの実施体制



- 環境資格支援教育／国際環境教育プログラムの実施体制
1) 必修科目 2単位
2) 選択必修科目 1~2単位
3) 選択科目 8単位



「環境資格支援プログラム」修了証

2種類の修了証が取得できます。

ISO14001 内部監査員養成研修修了証

本学内部監査員の資格です



▲学生による内部監査



▲国連気候変動枠組条約第15回締約国会議 (COP15;2009年12月7-18日、デンマーク・コペンハーゲン) COP15会場の看板前

認識共同体 環境コンソーシアム アジア・太平洋大学

- アジア地域を対象とした国際的な環境教育
世界を対象とした国際的な環境教育
地域に根ざし、世界に誇れる環境人財養成の環境教育

▲アジア・太平洋大学環境コンソーシアム (2009年10月23日)

実践活動 (Practical Activities) section including Reduce (Reduce), Reuse (Reuse), and Recycle (Recycle) activities with photos and descriptions.

Program Development (プログラム開発) section with a character illustration and text about specialized and common education.





6月

10日 ~教育ファーム事業~津市立大里小学校5年生が三重大農場で田植え体験

子どもたちは「泥のなかを歩くのがおもしろい」などと楽しそうにヒノヒカリの苗を手植えていました。



11日~日本建築学会東海支部主催~全国大学・高専卒業設計展示会2010

全国から優れた180点の作品を展示。学生ならではの発想や夢が盛り込まれており、建築のすばらしさや設計の楽しさを体感できます。



見当山をモデルにした作品「研ぎ澄まされた心~いのちを思う畜場~」三重大学工学部建築学科4年(受賞当時) 宮司典弘さん製作

18日 伊賀市立青山小学校6年生が附属図書館を見学

子どもたちは、図書館の規模や年間の図書購入費に驚いていました。



24日 三重大発、ゆるキャラ「ゴーニャン」誕生

人文学部の見玉克哉教授や学生らが地域を盛り上げようと、NHK大河ドラマ「江」のゆるキャラを提案。江にまつわるさまざまなイベントで活躍する予定です。

内田淳正学長と握手する「ゴーニャン」

29日 TV会議「地球の環境を守るための活動」

津市立北立誠小学校6年生とオーストラリアCoogee Public School 4年生がネットを通して、お互いの活動を英語で紹介しました。



2日~30日 環境ISO学生委員会パネル展「世界一の環境先進大学を目指して」

3R活動や、町屋海岸清掃・小学校での環境学習などの地域連携活動、国際環境活動に関する取り組みを大型パネルで紹介しました。

※3R活動：Reduce, Reuse, Recycle (廃棄物の発生抑制、再利用、リサイクル)



附属図書館玄関ホール

7月

15日 附属病院夏祭り

フラダンスやジャズヒップホップダンスなど、さまざまな踊りが催され、フルート演奏による曲当てクイズなどもあり、大いに盛り上がりました。



16日 産学官連携セミナーin伊賀2010

2005年に文化勲章を受章された沢田敏男氏より、地域農林業や人材育成などについて講演が行われ、約150名が参加しました。



三重高等農林学校(三重大学生物資源学部の前身)の卒業生だよ!

19日 みえアカデミックセミナー2010

人文学部の山田雄司准教授が「親鸞と熊野権現」と題した講演を行い、約150名の参加者は熱心に聴き入っていました。



22日 「農と食を支える女性研究者のワークライフバランス」エンカレッジセミナー

農研機構と三重大の共同で、女性研究者から研究成果やライフスタイルの紹介があり、多くの学生が参加しました。

※農研機構：独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構

27日 ~パールの輝きで、理系女性が三重を元気に~「フィールドサイエンス・ツアー&キャンプ」

- ◎演習林 7/27
- ◎水産実験所 8/9-10
- ◎農場・野菜茶業研究所 8/19-20

県内の女子高校生を対象にツアーを開催。生徒たちは、実際の自然や生物に触れて大満足の様子でした。



演習林にて

30日 知事トークinキャンパス

医学部臨床第2講義室で、野呂昭彦三重県知事がドクターヘリの導入や医師の人材育成などについて講演。多くの医学部生や職員が参加し、積極的に意見交換を行いました。

30日 作ろう風車 感じよう自然エネルギー

今年も、小中学生を対象に風力発電体験学習が行われました。新エネルギーの話を聞いた子どもたちは、組み立てた小型風車で発電の様子を観察しました。



30日~31日 附属練習船「勢水丸」に乗船体験

津市のヨットハーバーから沖へ出た子どもたちは、乗組員から救命胴衣の付け方を教わり、引き網や海洋観測を体験。「海底の泥に触って、海への興味がわいた」と嬉しそうでした。



31日~8月1日 レンズで実験 親子で科学を楽しもう

参加者80人が、生物資源学部の木村妙子准教授より光の性質を学びました。



虫めがねで実験中

4日 いきいきサロン キャンパス内見学 -橋南公民館市民講座の受講生-

参加者23名は、三翠会館を見学し、生物資源学部校舎屋上からの眺めを楽しんだ後、バセオで昼食をとり、講堂とレーモンドホールを見学しました。



5日 ~人文学部主催特別講座~ 「阿漕浦と浄瑠璃の魅力」

文楽三味線方の野澤錦糸氏が『勢州阿漕浦』の弾き語りを披露し、来場者は巧みな演奏に聴き入っていました。



6日 「津市-三重大学連携・企業成長支援室」~三重大学キャンパス・インキュベータ内に設置~

津市と三重大学の連携協力協定の一環で、大学発ベンチャーの継続的な支援と地域産業の発展を目的として開設されました。



支援室の看板を掲げる松田直久津市長(左)と内田淳正学長(右)

9日 兵庫県立三田祥雲館高校野球部 キャンパス内見学

雨の中、三翠会館を見学した後、第一食堂で昼食をとった高校生は、三重大在学の野球部OBから激励の言葉を受けました。



三重大学正門前にて

19日~20日 ~教育学部主催~ 「子ども科学教室」

理科好きな小学5、6年生70名は、2日間で4つの分野(物理・化学・生物・地学)の実験を体験しました。



20日 SUPER GTシリーズ参戦ドライバーが小児病棟を訪問

第6戦レース(鈴鹿サーキット)の開催に合わせ、骨髄バンクの認知促進活動の一環として訪問。ミニカーやDVDなどのプレゼントもあり、子どもたちは大喜びでした。



\* 第10回全国障害者スポーツ大会「ゆめ半島千葉大会 10/23~25」出場

三重県の代表選手として総務部定型業務等運営・支援センターキャンパス整備グループの職員が参加します。



闘志を燃やす二人

陸上競技 :古謝宏二さん(左) 卓球 :伊藤健太さん(右) 三重県選手団役員 :藪内健治さん



三重のピカ1 新シリーズ 三重県に本社のある企業のピカ1商品を紹介しします。



**株式会社 ナベル**

# SPOT



～1972年、光学用蛇腹専業メーカーとして永井蛇腹創業～

- 所在地／〒518-0131 三重県伊賀市ゆめが丘7-2-3
- 代表者／代表取締役社長 永井規夫
- 事業内容／ジャバラ製造・販売 並びにこれに関わる一切の業務
- 企業理念／常にエンドユーザー様の立場で

【URL】<http://www.bellows.co.jp/ja/index.html>

\*ジャバラミュージアム (じゃばらの博物館)\*  
<http://www.bellowsmuseum.com/>

\*国際蛇腹製造者協会 (IBMA)\*  
<http://www.bellowsmarket.com/>

## ピカ1 蛇腹 (ジャバラ)

### カメラの蛇腹が原点

ロゴのデザインがカメラの蛇腹をイメージしているように、カメラブームだった35年前に三層構造の蛇腹を開発。カメラ専門の蛇腹メーカーとして誕生しました。

『必要な時に伸び、不要な時に縮むもの』という考え方を基軸にカメラの蛇腹だけでなく、医療機器 (CTスキャン)、福祉機器 (車椅子等の段差解消昇降用機械)、レーザ光路用、電車用の蛇腹など様々な分野に進出しました。



▲カメラ

蛇腹の国内シェアはカメラ用80%、レーザ加工機光路用は95%なんだからすごい!!

ココにも、蛇腹の伸縮機能が活用されているよ




▲多層構造

### 機能的プラスBella-Flex

機能的に満足する製品だけでなく、Bella-Flex＝イタリア語で”美しく折る”を意識し、お客様の感性に響く製品づくりに力が込められていました。創業時から蛇腹一筋のナベルがトップメーカーとして躍進しているのは、常に蛇腹の可能性を考える向上心から生まれています。

「蛇腹とは、人生で最高の出会いのひとつ」という社長の言葉が印象的でした。

半導体関係で使用する蛇腹には防水などの先端技術も取り入れられているのには驚きました!



下條 レポーター 新矢 レポーター

### モノづくりへのこだわり

作業工程のあちこちに手仕事の職人技が存在しています。そこには、「お客様に喜んでいただける製品、要望に応じてどんな蛇腹でも製造します」というモノづくりへの「こだわり」と社員の柔軟な対応が製品づくりの現場にまで反映されていました。また、約3000万回もの品質テストを行うなど他に譲ることのない徹底した製品づくりは、優れた製品を開発した企業に贈られる「超モノづくり部品大賞奨励賞」を『VSアーマー』、『ウォーターディフェンサー付ジャバラ』で2008年、2009年と連続して受賞しています。



▲品質テスト

下條 由香里 (三重大学生物資源学部 生物園生命科学科4年) / 新矢 彰弘 (三重大学工学部 分子素材工学科2年)

## 航空部

活動は 毎週水曜日14:40～16:10  
 <定例会>人文学部棟実践中国資料室  
 <合宿>木曾川訓練所、福井空港、航空自衛隊基地など

鳥のように大空を舞ってみたいと思ったことはありませんか？ 2008年に復活した航空部は、そんな夢をグライダーという形で叶えてくれる部活です。合宿を行い、インストラクター指導のもとでライセンス取得のため腕を磨いています。他大学との合同合宿なので人脈を広くのぼす事ができます。またライセンス



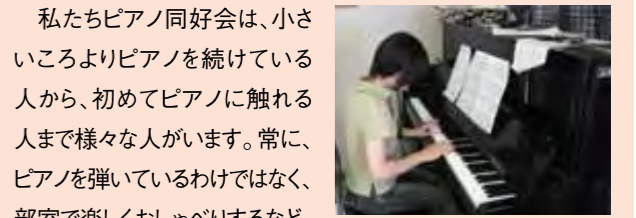
取得後には、航空大学校を経て旅客機のパイロットになる道も開かれている……そんな夢とロマンに満ち溢れた部活がこの航空部です。この世界に踏み込むのに特別な才能は必要ありません。春には新入生にむけて体験搭乗も行っていますので、我こそはという方は是非遊びに来てください!



代表 森 将直 (人文学部法律経済学科3年)  
 【URL】[http://sky.geocities.jp/mieuniv\\_glider\\_club](http://sky.geocities.jp/mieuniv_glider_club)

## ピアノ同好会 「KLUB KLAVIER」

活動は 毎週水曜日13:00～19:00・土曜日17:00～19:00  
 課外音楽棟B室 (プールの裏)



私たちピアノ同好会は、小さいころよりピアノを続けている人から、初めてピアノに触れる人まで様々な人がいます。常に、ピアノを弾いているわけではなく、部室で楽しくおしゃべりするなど、ゆったりとした雰囲気の中、のんびりと活動しています。かたいクラシックばかりではなく、ジャズや最新のポップス、ゲーム音楽などいろんな音楽も演奏しています。名古屋大学や岐阜大学との交流会もあり、年に2回、三重大学講堂 (三翠ホール) で定期演奏会を開いています。

12月4日に次の演奏会を予定しておりますので、興味のある方、ぜひご来場ください! 詳しくは、下記HPをご覧ください。

代表 内田早紀 (工学部機械工学科2年)  
 【URL】<http://www.geocities.jp/klubklavier/>



本の紹介



『証言 本能寺の変 史料で読む戦国史』
本書は、関係史料(古文書)117点を提示して、本能寺の変を羽柴秀吉との派閥抗争に敗れ左遷の危機に直面した明智光秀が、旧主足利義昭を奉じて反信長派の戦国大名達と連携しておこした政変、すなわち京都における室町幕府再興をかけた反革命であったと主張するものです。
単著/藤田達生(教育学部教授)
定価/3,400円(税別)
発行/八木書店



『カナダ先住民と近代産業の民族誌 北西海岸におけるサケ漁業と先住民漁師による技術的適応』
「近代化」や「グローバリズム」の波に翻弄されているといわれる世のマノリティですが、じつは生活世界ではその波をしたたかに乗り越え、たくましく生きています。その姿をフィールドワークによりつつ描き出したのが本書です。
単著/立川陽仁(人文学部准教授)
定価/5,600円(税別)
発行/御茶の水書房



『新魚類解剖図鑑』
各分類群を代表する軟骨魚、硬骨魚類32種の詳細な解剖図、骨格図をカラー図版で紹介するとともに、概説では体形や鱗、鱗などの外部形態、骨格や筋肉、消化系などの内部形態について、カラー写真を多用して、分かり易く説明しました。
監修/木村清志(生物資源学研究科教授)
定価/14,000円(税別)
発行/緑書房



『平安京とその時代』
編著/山中 章(人文学部教授)他
定価/9,000円(税別)
発行/思文閣出版



『日本数学教育史』
編著/上垣 涉(教育学部長)
定価/5,500円(税別)
発行/亀書房
発売/日本評論社



『環境科学 地球環境テキストブック』
共著/水野隆文(生物資源学研究科准教授)他
定価/3,000円(税別)
発行/オーム社



『占領期雑誌資料大系 文学編Ⅲ第3巻』
編著/尾西康充(人文学部教授)
定価/5,800円(税別)
発行/岩波書店



『海の外来生物 人間によって攪乱された地球の海』
編著/木村妙子(生物資源学部准教授)他
定価/3,200円(税別)
発行/東海大学出版会



『日本現代法史論 近代から現代へ』
共著/田中亜紀子(人文学部准教授)他
定価/3,200円(税別)
発行/法律文化社



『コンパイラの理論と作成技法』
共著/大門口通夫(工学研究科教授)三橋一郎(総合情報処理センター助教)
定価/1,700円(税別)
発行/サイエンス社



『エコ・フィロソフィ入門 持続可能な知と行為の創出』
共著/田中綾乃(人文学部准教授)他
定価/1,800円(税別)
発行/ノンブル社



『古記録による13世紀の天候記録』
編著/水越允治(名誉教授)
定価/35,000円(税別)
発行/東京堂出版



『エキスパート 管理栄養士養成シリーズ16 運動生理学 (第2版)』
共著/富樫健二(教育学部教授)他
定価/2,800円(税別)
発行/化学同人



『中高年者の元気長寿のための運動プログラム』
編著/重松良祐(教育学部准教授)他
定価/2,000円(税別)
発行/ナッパ



『中高年者の疾病予防・改善のための運動プログラム』
共著/重松良祐(教育学部准教授)他
定価/2,200円(税別)
発行/ナッパ

表彰

Table with 2 columns: 受賞者 (Award Recipient) and 受賞名(受賞日) (Award Name (Award Date)). Lists various awards received by faculty members from the University of Mie.

学生表彰

2010年3月23日
財団法人専修学校教育振興会
平成21年度ビジネス能力検定3級
文部科学大臣賞
生物資源学部 3年 吉村大輔 (教授 石田正昭)



2010年6月6日
European Academy of Allergy and Clinical Immunology
Asthma basic mechanism 部門
最優秀賞
医学系研究科(博)4年 鳥井美江 (教授 溝口 明)



2009年12月3日
日本免疫学会
Melchers' Travel Award



( )内は指導教員 学年は受賞当時

三重大えつくすはここに置いてあります!



三重大学附属病院/四日市フロント/知の支援センター(アスト津)/伊賀研究拠点/三重県庁/県内高校/県内市役所・役場/県内図書館・公民館/県内関連病院/県内保健所/三重県総合文化センター内/百五銀行/三重銀行/第三銀行/紀南病院/eisu/名古屋市立図書館/津東京事務所

近鉄主要駅
(津/江戸橋/桑名/四日市/白子松阪/伊勢市/宇治山田/五十鈴川鳥羽/伊賀神戸/桔梗が丘/名張上野市/青山町)





「お知らせ」 シップ・オブ・ザ・イヤー2009部門賞漁船特殊船部門に勢水丸 / 第8回日本環境経営大賞環境経営パール大賞 / カーボンフリー大学推進室設置 / 平成22年度科学研究費補助金トップ300機関ランキング

### シップ・オブ・ザ・イヤー 2009 部門賞(漁船・特殊船部門)に勢水丸

2010年6月8日  
社団法人 日本船舶海洋工学会が授賞するシップ・オブ・ザ・イヤーは、毎年、日本で建造された話題の船舶の中から、技術的・芸術的・社会的に優れた船を選考して与えられるもので、今年で20回目を迎えました。今年のシップ・オブ・ザ・イヤー 2009 には南極観測船「しらす」が決定。また、各部門賞には「勢水丸」(漁船・特殊船部門)、「にしき」(小型客船部門)、「ALEXANDARP」(大型貨物船部門)がそれぞれ選ばれました。



▲練習船「勢水丸」



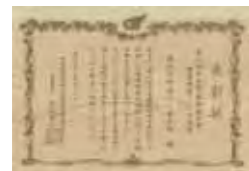
▲写真右: 「勢水丸」盾と表彰状

▲写真左から: 三菱重工業(株)下関造船所 林 洋一郎プロジェクトマネージャー、岡田清美機関長、中村 亨二等航海士

▲表彰状を受領される岡田機関長

### 第8回 日本環境経営大賞 「環境経営パール大賞」

2010年3月19日  
第8回「日本環境経営大賞」環境経営部門の最優秀賞 環境経営パール大賞に決定。6月1日に津市内ホテルにおいて表彰式が行われました。



写真左から: 山本良一表彰委員会委員長、内田淳正学長

### カーボンフリー大学推進室 設置

2010年7月1日  
「世界一の環境先進大学」を目指す本学は、カーボンフリー大学推進室を設置しました。



▲エコカー



写真左から: 平野正幸室長、内田淳正学長、朴 惠淑学長補佐

### 平成22年度 科学研究費補助金 トップ300機関ランキング

機関名	採択件数	合計	機関名	採択件数	合計
1 東京大学	3,091	22,585,299	31 高エネルギー加速器研究機構	133	909,550
2 京都大学	2,465	13,425,798	32 信州大学	386	898,798
3 大阪大学	2,155	10,823,537	33 立命館大学	342	870,065
4 東北大学	2,020	10,275,664	34 山口大学	384	862,280
5 名古屋大学	1,383	6,199,777	35 大阪府立大学	311	861,729
6 九州大学	1,515	6,099,053	36 大阪市立大学	338	848,809
7 北海道大学	1,441	5,893,215	37 静岡大学	301	821,648
8 東京工業大学	763	4,990,476	38 日本大学	436	811,193
9 理化学研究所	658	4,023,513	39 群馬大学	382	774,612
10 筑波大学	1,013	3,229,171	40 横浜市立大学	246	765,609
11 慶應義塾大学	860	3,029,386	41 富山大学	334	760,826
12 神戸大学	805	2,508,389	42 海洋研究開発機構	135	749,787
13 広島大学	916	2,420,586	43 鹿児島大学	367	726,972
14 早稲田大学	664	2,205,698	44 横浜国立大学	243	683,742
15 岡山大学	676	2,156,895	45 三重大学	293	675,526
16 東京医科歯科大学	455	1,932,355	46 東京理科大学	231	654,175
17 千葉大学	665	1,861,531	47 岐阜大学	300	622,553
18 熊本大学	514	1,590,187	48 名古屋市立大学	261	620,198
19 金沢大学	598	1,496,879	49 国立遺伝学研究所	73	619,701
20 産業技術総合研究所	355	1,295,355	50 兵庫県立大学	211	614,873
21 新潟大学	523	1,175,370			
22 長崎大学	462	1,168,864			
23 徳島大学	437	1,165,193			
24 愛媛大学	379	1,158,540			
25 奈良先端科学技術大学院大学	205	1,127,254			
26 首都大学東京	376	1,100,647			
27 東京農工大学	242	1,040,155			
28 物質・材料研究機構	252	937,915			
29 基礎生物学研究所	66	932,597			
30 一橋大学	151	913,715			
			298 成城大学	20	42,020
			299 東北工業大学	22	41,210
			300 (財)かざDNA研究所	7	41,080

300機関ランキング 金額の単位は千円

### 2010FIFA ワールドカップ 岡田武史監督 来学

2010年7月20日  
サッカーのナショナルコーチングスタッフ岡田武史日本代表監督が早川直樹チーフアスレティックトレーナーと本学を訪れ、学長に「教育学部の杉田正明准教授より専門の高地トレーニングでサッカー・ワールドカップ南アフリカ大会日本代表チームに多大な貢献をいただきました。5月末から国内合宿、スイス高地合宿、南アフリカ本大会までの帯同は、三重大学教育学部保健体育科の理解と協力があったからこそ実現できました。」と感謝の念を述べられました。



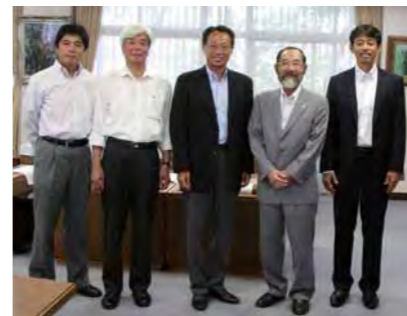
玄関でお出迎え



学長と握手



学長室で懇談



写真左から: 杉田正明准教授、上垣 渉教育学部長、岡田武史監督、内田淳正学長、早川直樹トレーナー



### 第4回三重大学国際交流週間2010

2010年7月3日~7月11日  
世界の多様な文化の理解を深めるため、市民参加型の国際交流イベントを開催しました。留学生研修旅行(京都東山)、韓国デイ、国際協力入門セミナー、日本語・英語スピーチコンテスト、外国語のどじまん大会、国際交流パーティ、国際交流スポーツ大会など多岐にわたり、参加者同士の交流が促進されました。



▲スピーチコンテスト



▲京都東山にて

### 三重大学オープンキャンパス2010



高校生の皆さんをはじめ、総勢4,859名の方々にご参加いただき、盛況のうちに終了しました。



▲人工知能搭載ロボット!



▲模擬裁判



▲在学生によるコーラス

▲美術教育 自作マシンのスチーカー

猛暑のなか、ご来場いただきありがとうございました!!



▲NICU(乳児集中治療室)にて

▲成人看護実習室にて

「お知らせ」 2010FIFAワールドカップ岡田武史監督来学 / 第4回三重大学国際交流週間2010 / 三重大学オープンキャンパス2010



### 附属病院から

## 三重大学医学部附属病院救命救急センター

県内4番目の救命救急センターとして平成22年6月1日認定されました。

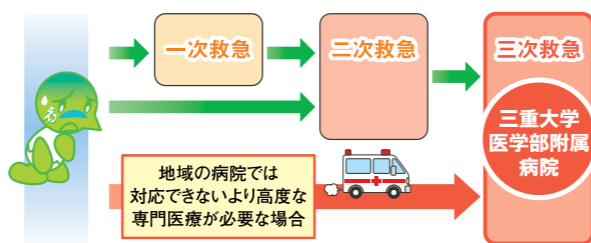


#### 《3つの役割》

●三重県全域における高次救急医療の砦



●中勢地域における三次救急医療の要



●大学病院として医療人の育成



## ドクターヘリの基地病院

三重県のドクターヘリ基地として、山田赤十字病院とともに承認され2012年の運航開始を目指します。



▲屋上ヘリポート建設状況



▲イメージ写真

## 看護師・助産師 募集



医学部附属病院では看護師・助産師の募集を随時行っています。大学病院で働いてみたい、病院を見て色々と知りたいと思われた方は、お気軽に連絡ください。あなたの笑顔をお待ちしています。

【お問い合わせは】

三重大学医学部附属病院看護部  
☎059-231-5183 又は ☎059-231-5184

## FM三重で放送中!!

～学生の企画するFMラジオ番組～

### 「Campus CUBE」

大学の取り組みや活動を伝えています!  
毎週金曜日20:30～20:55の間の25分間、放送中です!



皆さん、聴いてください!

### 附属学校園から

## 附属幼稚園

■平成23年度入園ご希望の方へ

- 入園児募集要項(願書等一式)を配布します。
○日 時 平成22年9月1日(水)～9月17日(金)〈土・日曜を除く〉 9:00～15:00
○募集人数 3歳児 約20名、4歳児 約50名
○願書受付 平成22年10月1日(金)～10月8日(金)〈土・日曜を除く〉 3年保育 9:00～12:00 2年保育 13:00～15:00
○願書を提出して頂いた方への説明会 10月14日(木) 10:00～11:00

## 幼稚園の園庭開放

- 日 時 毎週月曜日 15:00～17:00 毎週木曜日 13:00～17:00
○ご注意 受付で来園者受付簿に記入してください。トイレは、管理棟、昇降口の所をご利用ください。園舎には入れません。ゴミはお持ち帰りください。使った玩具等は、必ず片づけてください。保護者同伴でお越しください。

## 附属小学校

■平成23年度 第1学年入学者募集について

- 選考の時期が昨年までと変わりました。
●第1次選考 平成22年11月27日(土)
●第2次選考 平成22年11月30日(火)
○願 書 交 付 平成22年9月27日(月)～10月14日(木)〈土・日・祝日を除く〉
○学 校 説 明 会 平成22年10月15日(金) 午後2時～3時30分
○願書受付期間 平成22年10月18日(月)～11月1日(月)〈土・日を除く〉
○問い合わせ先 教育学部附属小学校 / ☎059-227-1295

## 附属中学校

■公開研究会のご案内

- 研究主題: ともに学び、ともに高めあう学校の創造 ～つながりあう力が伸びる「学び」の授業～
○開催日 平成22年11月21日(日) ○参加費 未定
○問い合わせ先 教育学部附属中学校 / ☎059-226-5281

■平成23年度 第1学年入学者募集について

- 募集システムを変えます。
入学希望者は、本校開催の学校説明会に必ず参加していただきます。
○開 催 日 平成22年12月5日(日)、6日(月) 13:00～(いずれかにご参加下さい)
○開催場所 附属中学校体育館
募集案内は11月初旬にHPで発表します。

## 附属小学校音楽クラブ・附属中学校音楽部活動報告

Table with 3 columns: School Level, Competition Name, and Result. Includes NHK All-Japan School Music Competition and All-Japan Chorus Competition.



### 市民開放授業

■平成22年度後期三重大学市民開放授業受講生募集のお知らせ

- 三重大学では、本学が開講している正規の授業を市民等の皆様と学生とともに受講していただく三重大学市民開放授業を開講しております。
募集要項は、本学のホームページ (http://www.mie-u.ac.jp/) に掲載しておりますので、受講を希望される方はご応募くださるようご案内いたします。
○開放授業科目
●人文学部 経営学総論、自然環境論B、考古学・文化財学概論B、日本考古学特講D
●教育学部 学校教育研究演習、現代社会の課題と国民的教養、教育社会学、教育と福祉、被服実習I、被服構成学、日本史概論
●工学部 電磁気学II及び演習
●生物資源学部 森林微生物機能学、景観設計論、環境経済学、植物病害制御学、微生物利用学、流域保全学、食料生産システム学、生物機能化学
●国際交流センター 文法・読解2B (Grammar/Reading2B)、入門日本語 (Introduction to Japanese)
●共通教育センター 比較政治文化、建築・技術・人間一防災論、ドイツ語基礎(後)、英語III TOEIC中級、英語IV TOEIC上級、ドイツ語演習(後)、日本史II、キャリアプランニング、ドイツ語II演習、ことばと文化
○募集定員 1科目2人～上限なし(授業科目により異なります。)
○受講料 1科目9,400円(一部の科目11,500円、13,500円)
○受講資格 授業内容が理解できる方(受講希望者ご自身の判断に委ねます。)
○受講申込受付期間 平成22年9月1日(水)～9月7日(火) (土・日を除く9:00～17:00)
○問い合わせ先 三重大学学務部教務チーム (☎059-231-9054)、又は三重大学各学部学務担当等(募集要項参照)
○その他 平成23年度前期三重大学市民開放授業の開放授業科目、募集定員、受講申込受付期間等については、平成23年2月下旬頃、本学のホームページ等によりお知らせしますので、受講を希望される方はご応募くださるようお願いいたします。

## 公開講座・シンポジウムなど

- 三重大学公開講座「三重学～三重の文化～」①②については既に終了済
○会場 三重大学総合研究棟II 1階 メディアホール
○受講料・定員 無料・先着100名 ○受講対象者 市民一般
○問い合わせ先 総務部総務チーム広報室 / ☎059-231-9789
③伊勢湾の再生 ～命の連鎖～
○講師 前川行幸(生物資源学研究所・教授)
○日時 平成22年9月10日(金) 18:30～20:00
④三重の食文化 ～魚を中心に～
○講師 磯部由香(教育学部・准教授)
○日時 平成22年9月17日(金) 18:30～20:00
⑤熊野古道を歩いて心も身体も健康になろう!
○講師 小森照久(医学部看護学科・教授)
○日時 平成22年9月24日(金) 18:30～20:00

■人文学部公開ゼミ2010 ※文:文化学科 法:法律経済学科

- 会場 三重大学人文学部
○受講料・定員 無料・各ゼミ20名(複数申込み可能)
○問い合わせ先 人文学部チーム総務担当 / ☎059-231-9196
①英文法を科学する! ?
○講師 杉崎敏司(文・准教授)
○日時 9月7日(火)、9月14日(火)、9月21日(火) 19:00～20:30
②シャーロック・ホームズ論
○講師 赤岩 隆(文・教授)
○日時 9月15日(水)、9月22日(水)、9月29日(水) 10:30～12:00



※文：文化学科 法：法律経済学科

- ③地域中小企業経営について考える
  - 講師◎ 後藤 基(法・教授) 青木雅生(法・准教授)
  - 日時◎ 9月15日(水)、9月22日(水)、9月29日(水) 19:00～20:30
- ④中国陶磁入門「大阪市立東洋陶磁美術館を訪ねて」
  - 講師◎ 藤田伸也(文・教授)
  - 日時◎ 10月1日(金) 13:00～14:30  
10月2日(土) 10:00～13:00 (大阪市立東洋陶磁美術館)
- ⑤日本古代の情報伝達システム ～三関及び駅路と「伝路」～
  - 講師◎ 山中 章(文・教授)
  - 日時◎ 10月2日(土)、10月9日(土)、10月16日(土) 10:00～12:00
- ⑥「正義」について語ってみよう
  - 講師◎ 高橋秀治(法・教授)
  - 日時◎ 10月4日(月)、10月18日(月)、10月25日(月) 10:30～12:00
- ⑦ワークライフバランス(仕事と家庭・私生活の調和)を考える
  - 講師◎ 藤本真理(法・准教授)
  - 日時◎ 10月4日(月)、10月18日(月)、10月25日(月) 13:00～14:30
- ⑧グリム童話と『日本の昔ばなし』の比較 小人像について
  - 講師◎ 大田伸広(文・教授)
  - 日時◎ 10月5日(火)、10月12日(火)、10月19日(火) 13:00～14:30
- ⑨絵巻物を読む
  - 講師◎ 山田雄司(文・准教授)
  - 日時◎ 10月5日(火)、10月12日(火)、10月19日(火) 14:40～16:10
- ⑩税を考える
  - 講師◎ 森 俊一(法・教授)
  - 日時◎ 10月12日(火)、10月19日(火)、10月26(火) 18:30～20:00
- ⑪今日の経済・労働問題の処方箋を考える ～人間らしい社会の実現を目指して～
  - 講師◎ 橋場俊展(法・准教授) 豊福裕二(法・准教授) 深井英喜(法・准教授)
  - 日時◎ 10月14日(木)、10月21日(木)、10月28日(木) 19:00～20:30
- ⑫アメリカ短篇小説を読む
  - 講師◎ 野田 明(文・准教授) 小田敦子(文・教授) 井上稔浩(文・教授)
  - 日時◎ 10月15日(金)、10月22日(金)、10月29日(金) 19:00～20:30
- ⑬Excelで回帰分析入門
  - 講師◎ 水落正明(法・准教授)
  - 日時◎ 10月18日(月)、10月25日(月)、11月1日(月) 19:00～20:30
- ⑭古文書の嘘(うそ)と実(まこと)
  - 講師◎ 塚本 明(文・教授)
  - 日時◎ 10月26日(火)、11月9日(火)、11月30日(火) 14:40～16:10
- ⑮商法の判例を読む
  - 講師◎ 名島利喜(法・教授)
  - 日時◎ 11月1日(月)、11月8日(月)、11月15日(月) 14:40～16:10
- ⑯生物多様性(COP10)と身近な生き物
  - 講師◎ 朴 惠淑(文・教授)
  - 日時◎ 11月19日(金)、11月22日(月)、11月26日(金) 13:00～14:30
- ⑰伝統的生産から近代的生産へ：日常生活文化の変化を考える
  - 講師◎ 石井眞夫(文・教授) 森脇由美子(文・教授) 立川陽仁(文・准教授)
  - 日時◎ 11月2日(火)、11月9日(火)、11月16日(火) 19:00～20:30
- ⑱異文化間コミュニケーションとギャップ
  - 講師◎ 藤本久司(文・准教授)
  - 日時◎ 11月9日(火)、11月16日(火)、11月30日(火) 19:00～20:30
- ⑲現代の金融規制について考える ～求められる金融の役割とは何か～
  - 講師◎ 野崎哲也(法・教授)
  - 日時◎ 11月16日(火)、11月30日(火)、12月7日(火) 16:20～17:50
- ⑳ドイツ語圏のコミック事情
  - 講師◎ 大河内朋子(文・教授)
  - 日時◎ 11月19日(金)、12月3日(金)、12月17日(金) 19:00～20:30

- 医学部公開講座 ※医：大学院医学系研究科 病：医学部附属病院
  - 会場◎ 三重大学医学部 先端医学教育研究棟 3階 基礎第2講義室
  - 日時◎ 平成22年10月16日(土)13:00～16:50
  - 受講料・定員◎ 無料・一般市民100名(先着順)
  - 申込期間・方法◎ 平成22年9月10日(金)～9月24日(金)  
受講申込書を郵送、FAX、メール
  - 問い合わせ先◎ 三重大学医学系研究科チーム総務グループ／☎059-231-5428
- ①「早く見つけよう、乳がん!」
  - 講師◎ 小川朋子(病・教授)
- ②「脳卒中：予防と治療の新しいトレンド」
  - 講師◎ 冨本秀和(医・教授)
- ③「元気で長生きするために今できること」
  - 講師◎ 須藤啓広(医・教授)

- 生物資源学研究科公開講座
  - いきものいろいろ「生物多様性のすゝめ」
  - 会場◎ 三重大学生物資源学部校舎 一階 大会議室
  - 時間◎ 13:00～16:00
  - 受講料・定員◎ 無料・高校生以上の一般の方 50名(先着順)
  - 申込期間・方法◎ 平成22年9月8日(水)～10月1日(金)  
受講申込書を郵送FAXメール
  - 問い合わせ先◎ 生物資源学研究科チーム総務担当／☎059-231-9626
- 生物多様性ってなに?
  - 開講日◎ 平成22年10月9日(土)
  - 講師◎ 木村清志(教授)

- 外来生物「その駆除と生物多様性の保全」
  - 開講日◎ 平成22年10月9日(土)
  - 講師◎ 淀 太我(准教授)

- DNAから生物の進化と多様性を考える
  - 開講日◎ 平成22年10月16日(土)
  - 講師◎ 高松 進(教授)

- 伊勢湾の再生と生物多様性
  - 開講日◎ 平成22年10月23日(土)
  - 講師◎ 前川行幸(教授)

- 南極と生物多様性
  - 開講日◎ 平成22年10月23日(土)
  - 講師◎ 谷村 篤(教授)

- 「札幌聖ミカエル教会」とアントニン・レーモンド展 ～三重大学レーモンドホールと木造モダニズムの系譜～
  - 参加費◎ 無料(申込不要)
  - 主催◎ 三重大学、日本建築学会東海支部歴史意匠委員会、ギャラリーエークワッド

- 展示会
  - 日程◎ 平成22年9月14日(火)～9月25日(土) 12:00～16:00 休祝日とも
  - 会場◎ 三重大学講堂(三翠ホールホワイエ)

- 講演会
  - 日程◎ 平成22年9月18日(土) 13:30～15:00
  - 会場◎ 三重大学講堂(三翠ホール小ホール)
  - 講師◎ 松隈洋氏(京都工芸繊維大学)
  - テーマ◎ レーモンドと日本

- 特別公開
  - 日程◎ 平成22年9月14日(火)～9月25日(土) 12:00～16:00(休祝日とも)
  - 会場◎ 三重大学レーモンドホール
  - 問い合わせ先◎ 三重大学附属図書館／☎059-231-9032

- 第21回 iCERP(アイサーブ)研究会 「三重大学でのバンゲア活動」についての講演会
  - 多文化共生の時代におけるICT児童国際交流
  - 日時◎ 平成22年9月17日(金) 10:40～11:50
  - 会場◎ 三重大学総合研究棟II 1階 メディアホール
  - 対象者◎ 三重大学教職員・大学生、三重県内教員・教育関係者
  - 問い合わせ先◎ 三重大学教育学部附属教育実践総合センター／☎059-231-9339 Eメール icerpm@salon.edu.mie-u.ac.jp

- 「発見塾」三重大学シリーズ 2010
  - 問い合わせ先◎ 津市文化協会事務局／☎059-228-8393
  - からだにやさしい発酵食品
    - 講師◎ 磯部由香(教育学部・准教授)
    - 日時◎ 平成22年9月25日(土) 13:30～
    - 会場◎ 久居中央公民館3階 大会議室

- 音環境とサウンドスケープ
  - 講師◎ 寺島貴根(工学研究科・准教授)
  - 日時◎ 平成22年11月27日(土) 13:30～
  - 会場◎ 津市まん中交流館 研修室

- 目からウロコ! 背骨の病気の大発見
  - 講師◎ 笠井裕一(医学系研究科・教授)
  - 日時◎ 平成23年1月22日(土) 13:30～
  - 会場◎ 津市白山総合文化センター 多目的室

- 江戸時代の伊勢参り ― 津を通った弥次さん喜多さん ―
  - 講師◎ 吉丸雄哉(人文学部・准教授)
  - 日時◎ 平成23年3月19日(土) 13:30～
  - 会場◎ 津図書館2階 視聴覚室

- 三重大学・鳥羽市・海の博物館 文化フォーラム2010
  - 講師◎ 前川行幸(生物資源学研究科・教授) 原田泰志(生物資源学研究科・教授) 常 清秀(生物資源学研究科・准教授)
  - 日時◎ 平成22年9月4日(土) 13:00～16:00
  - 会場◎ 海の博物館1階ホール
  - 問い合わせ先◎ 三重大学、鳥羽市企画財政課、海の博物館

- 日本消化器病学会市民公開講座 「ここまで治るおなかの病気 ― 内視鏡による早期発見と最新治療 ―」
  - 講師◎ 田中医介(医学部附属病院光学医療診療部・助教) 葛原正樹(医学部附属病院光学医療診療部・助教) 井上宏之(医学部附属病院消化器・肝臓内科・助教) 堀木紀行(医学部附属病院光学医療診療部・講師)
  - 日時◎ 平成22年10月2日(土) 13:00～16:00
  - 会場◎ 三重大学三翠ホール・小ホール
  - 問い合わせ先◎ 三重大学医学部病態制御医学講座消化器内科学(栗田)／☎059-231-5017

- 肝がん撲滅運動記念講演会 C型肝炎市民公開講座
  - 日時◎ 平成22年11月23日(火) 13:00～16:00
  - 会場◎ 三重県総合文化センター 小ホール
  - 問い合わせ先◎ 三重大学医学部附属病院 肝炎相談支援センター(藤田、赤塚)／☎059-231-5756



- 「第3回 久留倍遺跡まつり」
  - 第一部「壬申の乱ウオーク」
    - 開催日時◎ 平成22年11月13日(土) 8:30～12:00
    - 会場◎ 久留倍遺跡(四日市市大矢知(近鉄富田駅乗り換え三岐鉄道大矢知駅下車徒歩15分))
  - 第二部「平城遷都1300年記念特別講演会～聖武天皇と万葉歌人と伊勢～」
    - 開催日時◎ 平成22年11月13日(土) 12:30～16:30
    - 会場◎ あさけプラザ大ホール(四日市市下之宮(近鉄富田駅下車徒歩15分))
    - 特別講演◎ 森 浩一(同志社大学名誉教授)「聖武天皇と伊勢」
    - 特別講演◎ 馬場 基(奈良文化財研究所主任研究員)「聖武天皇と万葉歌人」
    - 問題提議◎ 山中 章(三重大学教授)「聖武天皇東国行幸とその頓宿地」
    - 連絡先◎ 三重大学人文学部伊勢湾・熊野地域研究センター代表 山中 章／☎059-231-9148

- 「青少年のための科学の祭典」三重大学大会
  - 日時◎ 平成22年11月27日(土) 13:00～17:00、11月28日(日) 10:00～16:00
  - 会場◎ 三重大学講堂(三翠ホール)
  - 連絡先◎ 教育学部・後藤太郎／☎059-231-9260

- 隣接学校園との連携に基づく教育フォーラム
  - 日時◎ 平成22年12月1日(水) 13:00～17:30
  - 会場◎ 三重大学講堂(三翠ホール)
  - 連絡先◎ 教育学部・後藤太郎／☎059-231-9260

## 催し物

- 2010年度日本魚類学会年会 研究発表会ならびにシンポジウム
  - 日程◎ 平成22年9月23日(木・祝)～26日(日) ※一般の研究発表並びに高校生による研究発表は24日(金)～25日(土)の両日 ※シンポジウムは26日(日)となる
  - 会場◎ 三重県総合文化センター
  - 連絡先(担当者)◎ 実行委員長：木村清志(三重大学水産実験所) Eメール isj-nenkai2010@bunken.co.jp

- 有機農業学会大会
  - 日程◎ 平成22年12月11日(土)～12日(日)
  - 会場◎ 三重大大学生物資源学部大講義室
  - 連絡先(担当者)◎ 三重大大学生物資源学部 循環経営社会学研究室 波野野豪
  - その他詳細◎ 生産・流通関係の方、消費者の方など一般からの参加も歓迎します(資料代1,000円程度要) 詳細が決まりましたら、学会HP (http://www.soc.nii.ac.jp/yuki/) で案内いたします。

- 歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー
  - 日時◎ 平成22年11月14日(日)
  - 開催場所◎ 鈴鹿青少年の森
  - 募集人員◎ 150名
  - 参加資格◎ 糖尿病治療中の患者さんと、ご家族・友人の皆さん
  - 主催◎ 日本糖尿病協会三重県支部
  - 問い合わせ先◎ ☎059-224-3511/FAX059-224-3507

- 三重大学体育会応援団 第16回 翠旗仰ぎて
  - 日時◎ 平成22年11月20日(土) 開場13:30 開演14:00
  - 会場◎ 三重大学講堂(三翠ホール)
  - 問い合わせ先◎ 三重大学体育会応援団(西田)／☎090-2779-2478



初瀬街道 垣内宿



各戸に屋号の暖簾



大正3年の道路元標

▲乗溪寺と参道

津市白山町垣内は、初瀬街道の伊勢側宿駅の止まりとして古くから多くの旅籠や問屋が置かれた所です。江戸時代の村名は「入道垣内村」ですが、「かいと」または「垣内宿」として親しまれ、青山峠を上り下りした多くの旅人たちがここで休泊をとったのです。

現在は垣内宿の南を通る国道二六五号によって青山峠を越すことが一般的となりました。そのため、山麓の国道交差点を北の谷に入る狭い初瀬街道沿いは今も変わることなく、宿場の雰囲気随分残っております。さらに、往來の盛んな折の屋号が伝わり、地元布引観光協会の尽力により家並みのそれぞれに屋号札が建てられ、玄関口には屋号を記した青暖簾が掛けられています。それによって「層宿場の風情が出て、最近では「街道ブーム」もあって、この垣内宿を訪れる人も増えてきているようです。

また、宿場中央の小高い所には入道山乗溪寺があります。その境内には行き倒れの旅人を葬った墓碑が多数見られ、青山峠越えの苦勞を物語り、乗溪寺の参道入口には大正三二(一九四一年)に建てられた道路元標があつて、この垣内が当時交通の要所であつたこともわかります。それに、青山峠に向かう山道にも旅の安全を願う石仏や伊勢茶屋跡などがあります。自動車でなく、垣内宿から初瀬街道を歩いて青山峠を越してみたいかかでしょう。

三重大学附属図書館 研究開発室客員教授

吉村 利男



▲青山峠に向かう山道の石仏等

メールマガジンのご案内

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています(発行:毎月末)。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、「三重大」に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

皆様のご登録を心からお待ちしています。

配信お申込み方法

次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。

1.メールのタイトルは『メールマガジン希望』と記入してください。

2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。

①「一般」もしくは、「三重大生(保護者)」

②お住いの都道府県

koho@ab.mie-u.ac.jp

できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただくことになります。



アンケートに答えて...

三重大学オリジナル “えっくすくんわくわくシャーペン” をもらおう!!

「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。アンケートにお答えいただいた方には、「えっくすくんわくわくシャーペン」をお送りします。どしどしお寄せください。(先着100名) \*なお、お寄せいただいた個人情報は、景品発送のみに使わせていただきます。



→「えっくすくんわくわくシャーペン」ご希望の方は、巻末の綴じ込みはがきにご感想等必要事項をご記入の上ご投函ください。

三重大学総務部総務チーム広報室 〒514-8507 津市栗真町屋町1577 TEL 059-231-9789/FAX 059-231-9000 ホームページ http://www.mie-u.ac.jp/ E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp

\*ご意見をお寄せください。

三重大 X[えっくす] vol.23

平成22年9月1日発行 ●発行/三重大学広報委員会 ●編集/三重大学広報室 ●印刷/有限会社アートピア artopia@zvtv.ne.jp

◎禁無断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。

お願い

三重大学振興基金へのご協力をお願いします

三重大学の目的・使命を達成する一助となることを目的に「国立大学法人三重大学振興基金」を設立しました。次の事業を計画しておりますので、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

- ◎学生への奨学金及び災害時の学資援助事業
◎学生の修学環境整備事業
◎学生・教職員の海外留学その他国際交流活動等への支援事業
◎地域貢献支援事業
◎その他本学の目的達成に必要な事業

●募金の方法●

三重大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、ご記入の上ご郵送ください(FAX・E-mailでもOKです)。

ご郵送先・お問い合わせ先

三重大学振興基金事務局

【総務部総務チーム内】

〒514-8507 津市栗真町屋町1577

TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000

E-mail: kikin@ab.mie-u.ac.jp

URL: http://www.mie-u.ac.jp/fund/





# 三重大学祭

テーマ/ みえがお

期間 11月6日(SAT) ~ 7日(SUN) 9:00 ~ 19:00

球野球場・川崎長田・球野G「川球鑑」  
遊園地・壁打ち場「川園鑑」  
介母・壁打ち場・G「赤木花布」  
川崎長田の花屋茶坊

「メロウ」のテーマは「みえがお」  
「みえがお」は「みえがよい」の略  
「みえがよい」は「みえがよい」の略

参加無料★  
豪華賞品あり★

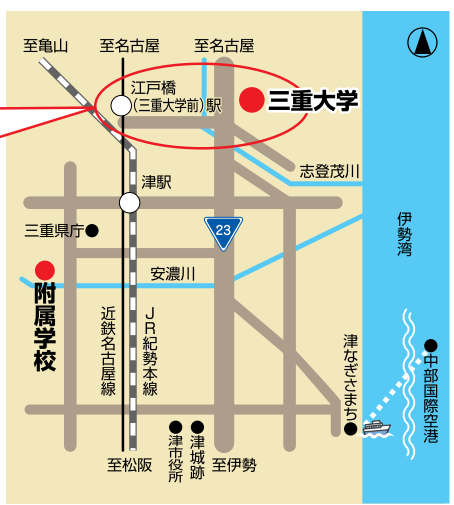
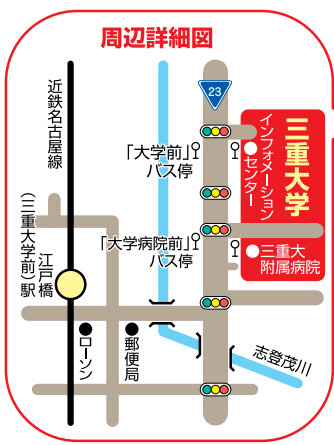
## ライブイベント

～缶けり～  
チームの缶を守って  
敵チームの缶を蹴ったり  
ミッションをクリア!

10/30 SUN  
15:40～開演式

どこの第一体育館

小雨決行 予備日10月31日(月)  
◎12:00～発行 ◎15:40～開演式  
変更の可能性あり



### 交通のご案内

- 近鉄江戸橋(三重大学前)駅から徒歩約15分
- 津駅からタクシーで約10分
- 津駅前バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅前」(06系統)、「太陽の街」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスステイ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)行きで、「大学前」下車。
- 中部国際空港(セントレア)から津エアーポートラインで津なぎさまちへ40分
  1. 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
  2. 津なぎさまちからタクシーで三重大学まで約15分

# 三重大学

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577  
TEL 059-232-1211(代)  
<http://www.mie-u.ac.jp/>

MIE UNIVERSITY